

# 令和7年度 校内夏季研修の報告

7品特第699号  
令和7年9月3日

## ①令和7年7月23日（水）

外部専門員による「教材作成のための研修会」

棒差し教材、パズル、マッチング教材の3つのグループに分かれて受講しました。糸のこぎりやボール盤、電動サンダーなどの用具の使い方のアドバイスを受け、木材を加工した教材を作成しました。



## ②令和7年7月29日（火）

「校内研究会フィードバック」下山 直人先生

「自立活動」の指導について2年目の研究です。今年度は校内研究「子供たちの今を見つめる実態把握と将来を見据えた目標設定を考える～子供の目標達成に向けた指導内容とは～」というテーマで取り組んでいます。



## ③令和7年7月30日（水）

「身体の手組みについて」酒井 康年先生  
手指の使い方、歩行、姿勢、感覚、発達・・・。  
様々な視点からお話をいただきました。



## ④令和7年7月31日（木）

「特別支援教育と医療との連携」小林 潤一郎先生  
子供の実態を知るためにも教員は保護者からの情報に加え、医療的な情報を知っておく必要があります。  
薬の種類や服薬時の注意点、将来、成人判定を行う際に医療がどんな役割をするかなど、お話をいただきました。



## ⑤令和7年8月28日（木）

「ステージごとの国語教材/ICT 機器の活用」  
合同会社学習室クレメント 富岡 康一先生  
太田ステージ評価に基づいて、ステージごとに必要な国語の教材について講演をしていただきました。また、授業で活用できる教材作成の研修も行っていました。



令和7年度の校内夏季研修の様子をお伝えしました。

これからもいろいろな研修を行い、児童・生徒のために日々研鑽してまいります。 研究研修部 黄金井 利恵